

先進地に学ぶ 視察研修 議会議員視察研修

駅を活かしたまちづくりで地域の活性化を

視察日：平成20年12月11日(木)～12日(金)

視察先：大和中学校(茨城県桜川市)

JR矢吹駅(福島県矢吹町)

目的：①安心・安全な学校づくり交付金や合併特例債を活用した中学校校舎の視察
②駅を活かしたまちづくりによる施設の整備と地域の活性化視察

大和中学校

安心・安全な学校づくり交付金や合併特例債事業を活用した大和中学校新校舎を視察しました。老朽化が著しく改築が望まれていた大和中学校でしたが、新校舎は「環境との共生」を体験・学習できる校舎とのことで、自然素材や地場産業の材料を使用するとともに太陽光発電を取り入れ、環境にも配慮した近代的な建物に生まれ変わりました。今後、この充実した教育環境が生徒の豊かな人間性を育み、次世代を担う人材育成に貢献してくれることが期待されます。



JR矢吹駅

2日目に視察したJR矢吹駅は、町の中心市街地がJR東北本線により分断されているため、地域の活性化とまちの玄関口である矢吹駅周辺を一体的に整備することを目的に、コミュニティプラザ、自由通路を建設し、地域住民の通行の利便性と、生活、文化、情報の発信基地として施設整備をし、地域の活性化と活力あるさわやかな田園のまちづくりを推進しているとのことです。

桜川市においても、多目的複合施設や岩瀬駅線歩道橋の建設が計画されていますが、市民の交流拠点として、多くの市民から親しまれる施設の整備が望まれています。

真壁地区の蔵の町並みを視察

視察日：平成20年10月31日(金)

来庁議会：長野県須坂市議会

目的：地域におけるまちづくり



10月31日に長野県須坂市議会「須坂フォーラム」宮本勇雄代表ほか14人が行政視察に来庁されました。

当議会からは、小高友徳文教常任委員長、市からは「まちづくり真壁」の川島利弘会長及び文化生涯学習課担当者が同席し、旧真壁町を中心とする地域におけるまちづくりについて視察研修されました。

この研修では旧真壁町が取り組んできたこれまでのまちづくりの経過や活動内容、今後の取り組みについて、文化生涯学習課職員より説明があり、行政と市民が協働するまちづくりの実現に向けて活発な意見の交換がなされました。



川那子秀雄 議員

集中豪雨による災害の対策は

問 八月の集中豪雨により発生した市内の災害対策とその進捗状況は。

答 市長 被災施設の早期復旧は行政の責任と感じており、今後災害が発生した場合、安心安全な生活が送れるよう、復旧復興に向けた情報収集や対策に取り組んでまいりたい。

答 建設部長 八月の被害状況は、土砂崩れ九十九件、道路冠水等十七件、倒木等が四件で合計一二〇カ所であり、ほぼ工事が完了しております。

問 桜川市道(岩瀬地区)の西区と東区境界付近の水害対策は。聞き取りをしたところ、六十年前からいまだに解消していないと言っている。年二回くらいは夜も眠れないときがあり、駅前の整備と比べ格差を感じている人が多いが、安心安全対策のためにも調査設計費は計上できないか。



西区と東区の境界付近は水害が懸念されているが

答 建設部長 改修を試みていますが、いまだ冠水をとめるに至っていません。この地区の改修整備は喫緊の問題と受けとめ、技術的な精査をし、詳細設計等の予算措置を考えた。

答 市長 この場でお答えできませんが、一番低い地域なので、猪ノ窪や駅前の水が一気に流れていくことは重々承知しており、水の流れにどのように対応していくか調査をして、その後どのような形が一番よろしいのか、建設常任委員会にも相談しながら、粛々と進めさせていきたい。

全国から視察来庁 埼玉県北川辺町 長野県須坂市

市設置型合併浄化槽整備事業について活発に意見交換

視察日：平成20年11月11日(火)

来庁議会：埼玉県北川辺町議会

目的：市設置型合併浄化槽事業

11月11日に埼玉県北川辺町議会文教民生産常任委員会の柿沼秀雄委員長ほか14人が行政視察に来庁されました。

当議会からは、中川泰幸建設経済常任委員長、岩見正純建設経済常任副委員長、市からは吉清嗣上下水道部長及び下水道課担当者が同席し、公共下水道事業や農業集落排水及び市設置型整備事業について視察研修されました。

これまで桜川市で取り組んできた整備事業について、上下水道部下水道課職員より説明があり、快適な生活環境の整備について活発な意見の交換がなされました。

